

新聞紙で 家が建つ

ハイアス&カンパニー(株)と事業提携している株式会社アコス(山口県下関市、代表、安成信次氏)は、新聞紙をリサイクルしたアコスファイバーによる断熱工法「デコストドライ工法」を全国の工務店に供給している。今回、その開発に携わり、デコストドライ

工法の家に住む竹之内貴浩氏が「新聞紙で快適な家が建つ」を出版した。

新聞紙を原材料とした断熱材「セルロースファイバー」を使った、「安くて、エコ住宅」についての解説書。

このほど、経済産業省では、家庭での温室効果ガス削減策として、断熱性能に応じて、窓、ガラス、サッシなど「製品を4段階に区分」、ラベルで表

示する制度の導入を決めた、という。消費者が断熱性の高い製品を選びやすくする目的で、製造業者や住宅メーカーなどに働きかけ、2008年4月の導入を目指すとのこと。

デコストドライ工法は、品確法の温熱環境分野で最高等級(4)の認定を取得している。今回の出版はこれらの情報をPRする目的でもある。問い合わせ、(株)ブラチナム、03・5571・6007。